

自分たちで考え行動させ、自己肯定感を高める

10月号の特集で伝えていた「軸」と「修正力」という言葉は新鮮に響いた。指導において力のある言葉だと思ふ。特に、生徒が何かを経験した後に「君たちの力ならもっと出来る」という声掛けは、自己肯定感を高め、成長させることに適しているだろう。そのため、自分たちで考えさせ、行動させるのは効果的はずだ。一方で、自分の出来る範囲でしか行動してない学力層の生徒も多い。やはり教師が背中を押してあげる必要があると思う。

〔宮城県・私立常盤木学園高校・高谷将宏〕

10年後を見据えた人材育成に夢を感じる

混沌とした時代だからこそ、夢を持って仕事がしたいと最近感じており、8・10月号の特集の共通テーマ「10年後を見据えた人材育成」には非常に共感した。引き続き、ICT教育やグローバル人材育成、新課程といった様々な視点から、夢を感じられる記事を取り上げてほしい。〔長野県長野西高校・佐藤洋二〕

生徒の短期目標と学習意欲の関係の明確化を

10月号の「新課程 指導最前線」で佐賀県立致遠館中学・高校の尊田和寿先生の「2次の模試ではここまで頑張ろう」と短期目標を持たせます。それを1つひとつ達成することによって、徐々に自信を高め、自ら学習に向かう意欲を育みたいと考えています」という言葉をかみしめた。本校では、個別指導で生徒の学力を高める努力をしているが、教師が生徒の短期目標と学習意欲・進路意欲の

Reader's VIEW

Volume 5

読者のページ

読者の先生方からのご意見を紹介します

関係を明確にする努力が欠けているように感じた。
〔徳島県・匿名希望〕

生徒が自ら動き、成長する場を設ける

10月号「指導変革の軌跡」の広島県・私立広島女学院中学校の記事の「生徒が能動的に活動できる場を、私が提供していなかった」という先生の言葉は、多くの学校に当てはまるのではないかと思った。生徒をもっと信頼して、自由に考えさせる時間と場面を与えれば、生徒は自ら動き出し、成長していくものだと思っている。同校のSGHの取り組みは、これからの生徒を大きく成長させるものと期待している。
〔和歌山県・匿名希望〕

計画重視の取り組みに変え、生徒の自己管理能力を養う

10月号「生きたデータの徹底研究」は、本校の取り組みを振り返る機会となった。本校では、学習時間記録は「実績」より「計画」重視へ方針を変更しつつある。1日の授業終了後に、その日に自宅ですべきことを書き添った取り組みも始めた。問題点もあり、うまくいっていることばかりではないが、生徒に自己管理能力を身に付けさせるために継続していきたい。

〔広島県・広島市立沼田高校・正木勝治〕

教師川柳

厳冬の季節過ぎればきっと春

奈良県・私立奈良育英高校・久保貴芳

編集後記

◎今号も、現場の先生方へのヒアリングや取材を通じて、様々な気付きを得ることが出来ました。その1つに、「軸」と「修正力」の関係性があります。この2つは、どちらを先に身に付ければよいというものではなく、茨城県立竹園高校の植木明美先生がおっしゃっていたように、不可分な関係にあります。つまり、「軸」を磨き上げる中で「修正力」は高まるのであり、「修正力」を発揮することで「軸」がつくられていくということです。次号では、どのような発見があるのか、今から楽しみです。(柏木)

『VIEW21』高校版はウェブサイトでもご覧いただけます！

本誌の最新号、及びバックナンバーは、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイトで公開しております。誌面のPDFや「生きたデータの徹底研究」の図版もダウンロードできます。ぜひご利用ください。

詳しくは

VIEW21 高校版

検索

<http://berd.benesse.jp/magazine/kou/>



VIEW21 12月号 Vol.5

2014年12月18日発行

発行人 山崎昌樹
編集人 春名啓紀
発行所 (株)ベネッセコーポレーション ベネッセ教育総合研究所
印刷製本 凸版印刷(株)
編集協力 (有)ペンダコ
執筆協力 中丸 満、二宮良太、長谷川敦
撮影協力 荒川 潤、谷口 哲、ヤマガチイキ
イラスト協力 カモ

VIEW21編集部
〒163-0411 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング14階

©Benesse Corporation 2014

VIEW21

2015
February
2月
Volume 6

次号は
2月20日発行(予定)
『VIEW21』高校版は
年6回の発行です